

全自動錠剤分包機 1 式

仕 様 書

令和 8 年 8 月

国家公務員共済組合連合会

新 別 府 病 院

【調達背景】

国家公務員共済組合連合会新別府病院（以降、「当院」という。）は、三次救急病院として高度の医療を提供することで地域に根付いた医療を推進しており、特に循環器内科と脳神経外科では24時間体制で救急医療を行ってきた背景がある。

平成 22（2010）年 3 月に初めて導入された電子カルテにおける薬剤科部門システムの一部として現在稼働している自動錠剤分包機を導入した。

平成 30（2016）年 3 月に電子カルテは更新され、薬剤科部門システムの更新も行われたが、ハード部分である自動錠剤分包機の更新は行われずにいた。よって現在のハードは 16 年間維持されており、既存メーカーには感謝している。

薬剤科の機器システムは、今後医療 DX の推進として一包化監査支援システムの導入が予定されているため、それよりも先に自動錠剤分包機を更新する必要がある。以上のことにより、今年度内で自動錠剤分包機の更新、および一包化監査支援システムの導入も検討しており、これにより現場において安心して診療出来る体制を構築できることとなる。

ただし、コロナ禍終息後の当院の経営状況は悪化しており、令和 6（2024）年度並びに同 7（2025）年度の 2 期で約▲1,000,000 千円の赤字を計上している状況下にあって、令和 8（2026）年度以降も高額医療機器の先行投資は一定金額以上必要と見込まれる中での調達のため、入札に参加を予定する業者は当院の経営状況を十分に理解の上、入札に参加されたい。

1. 必要条件

- ①薬事法に基づく（薬事認可が必要な機器のみ）医療承認を得ている装置であること。
- ②納入後、安定した稼動が出来ること・
- ③本装置の設置に関する作業については、事業者の負担とする。

2. 調達物品名

全自動錠剤分包機

3. 数 量 : 一 式

4. 構成内訳

（性能・機能に関する要件）

1 全自動錠剤分包機は以下の要件を満たすこと。

- 1-1 錠剤の処方データに応じ、誤飲防止・服用忘れ防止に役立つ一包化の分が、自動で行える錠剤分包システムであること。
- 1-2 既存の調剤支援システムからデータを受信し、分包のデータを作成出来ること。また、この受信に関する費用は本価格に含めること。
- 1-3 錠剤調剤の指示のある処方データを処方解析監査装置より受け取れること。
- 1-4 全自動錠剤分包機の一包化分包速度は54包／分以上であること。
- 1-5 全自動錠剤分包機は薬剤の収納カセット数が204種以上であること。
- 1-6 全自動錠剤分包機はカセットの配置換えが容易に行えるように、薬剤収納カセットサイズは1種であること。
- 1-7 全自動錠剤分包機は薬剤の補充の度合いに合わせ、カセット配置を自由に変更できること。
- 1-8 全自動錠剤分包機は錠剤の収納カセットが帯電防止性、防湿性に優れていこと。
- 1-9 錠剤の補充に際して、収納方式はスライドキャビネット方式を採っており、一度に34種以上の残量確認ができること。
- 1-10 本体へのカセット装着は、本体凸部へカセット凹部をかぶせるだけの簡単装着であること。
- 1-11 錠剤や半錠などの薬品形状にあわせてリアルタイムに変対応できる特殊カセットを8個以上搭載していることにより、手撒きコンベアを利用することなく、分包機内に収納していない錠剤(後発薬品や頻出薬品など)を高速に払い出し分包できること。
- 1-12 全棚が錠剤カセットを自動で認識することができ、どこにどのカセットを配置しても錠剤カセットに取り付けられているタグと分包機内の棚に設置されているタグ識別装置にて薬品の照合ができること。
- 1-13 全自動錠剤分包機は非実装薬剤の一包化が容易にでき、非実装薬剤のリストがタッチパネルに表示できること。
- 1-14 錠剤コンベアは、各マスにLEDランプが搭載されており、錠剤を投入すべきマスのLEDランプを点

灯させることで錠剤の誤投入が防止でき、どのマスへまけば良いか一目瞭然のコンベアであり、このLEDランプ付錠剤コンベアが標準で搭載されていること。

- 1-15 全自動錠剤分包機は至急の割り込み及び号機指定もできること。
- 1-16 15インチの大型のタッチモニターを搭載していること。
- 1-17 分包済み薬剤の内容を、モニターで確認できること。
- 1-18 処方解析監査装置から受け取った錠剤の処方データに応じ、自動で薬包紙に以下の印字ができること。
●患者氏名 ●用法 ●薬品名
- 1-19 処方区分、病棟ごとに自動で印字内容を変更できること。
- 1-20 全自動錠剤分包機の印字は全行熱転写方式であること。
- 1-21 全自動錠剤分包機は情報提供の観点から、薬品名などを印字できること。
- 1-22 分包紙への印字は、Windows PCに標準搭載のフォントは全て印字でき、好みの字体が使えるだけでなく、これまでの分包機では印字できなかった外字や記号などもPC上で表示された通りに印字でき、下記項目を印字できること。
●写真 ●イラスト ●ロゴ ●バーコード ●QRコード など
- 1-23 全自動錠剤分包機で使用する分包紙は、薬品に対しての品質保持に優れ、シールずれのない二ツ折り分包紙を採用していること。
- 1-24 患者の服用時に分包紙が開封しやすいよう、分包紙シール部のどこからでも切れる機能だけでなく、鮮明なイージーカット(開封用切れ込み)が入る機能をそなえていること。
- 1-25 薬剤部内の全分包機で使用する分包紙は、共通性を持たせることにより分包紙の発注・在庫管理業務が非常に効率的になるため、散薬分包機および錠剤分包機ともに共通規格分包紙であること。
- 1-26 全自動錠剤分包機のサイズはW1160mm×D600mm×H2180mm以下で、薬局で指定する場所に設置できること。
- 1-27 台数は制御用PC1台、全自動錠剤分包機1台、の構成であること。

以上